

他人でも支え合おう

生活続けたい

宿場として栄えた玉村町の日光例幣使街道沿いにある「たむろ荘」。学生と町民が集う地域の交流拠点にしたいと、県立女子大生だった本田美咲さん(22)と秋山恵璃さん(23)が共同で設立したシェアハウスを兼ねたイベントスペースだ。家族や恋人でもない他者と共同生活を送ることは「互いに個を尊重し、節約ばかり考えず人間らしくゆとりをもって暮らすこと」だという。2

たむろ荘

人は「丁寧に暮らすにはお金が掛かるが、互いのものをシェアすれば合理的。冷蔵庫も風呂も一つですむ」と話す。空き物件だったたむろ荘を手に入れたのは2016年。「学生寮にアコがれて、他人と共同生活をしてみたかった」という本田さんがシェアハウス作りを計画。下宿先を探していた秋山さんが加わった。クラウドファンディングで

得た支援金にアルバイトでためた資金を加えて、鉄骨一部3階建ての建物を買収した。自分たちの手で床板の張り替えを行うなど、リフォームに1年掛かった。今は後輩で4年生の佐藤風子さん(21)が同居しているが、今月末に巣立つ予定だ。

イベントスペースでは軽食や飲み物を提供し、性的少数者(LGBT)を招いた座談会など社会的なテーマを取り上げたイベントを企画している。性差や家族、仕事など個々でさまざまな価値観を持つ時代。2人は多様性を認め合うことの大切さも考える。「旧来の価値観を否定するつもりはないがさまざまな価値観に触れたい。他人でも助け合って生活できるスペースを育てるだけ維持したい」と夢を語る。



「たむろ荘の事業で身を立てられるようになりたい」という本田さん(左)秋山さん(上)と同居する佐藤さん

たむろ荘 cafe
11:00 ~ 21:00
お肉の串焼き 600円
(持ち帰り可)
ホットサンド 350円
日替りデザート 350円
コーヒー 300円
お電話: 0277-211111